

新潟県立長岡大手高等学校

校歌

西脇順三郎
三善晃

作曲
作詞

一 ああこの学園の人々よ歌え

蒼柴野の森は桜咲き

心は清く香るとき

はるか天体の曲に相和し跳る

大手に集う若人たち

この学びの故郷は尊し

二 ああこの学園の人々よ歌え

黄金のみのり野にあふれ

真理の極み満つるとき

すべて在るものは歴史ひらめくことか

名利を捨てて豊饒なり

三 ああこの学園の人々よ歌え

悠久の山うらかに

信濃の川に映るとき

遠く海潮の音にみかたむける

沖田の人は賢明なり

この学びの故郷は尊し

(昭和五十一年十二月十七日制定)

長岡大手高等学校 旧校歌

相馬御風 作曲
中山晋平 作詞

一朝の光に咲き匂ふ
悠久山の春の花
夏にも冬にも色かへぬ
蒼柴の森の姫松の
やさしく強き心もて
希望の方へいざ伸びん

二賤が伏屋も高樓も
包みて清き白雪の
飾らず汚れぬ誠もて
澄みわたる久方の
天つみ空とさはやかに
清くゆたけく生きゆかん

三よき師よき友よき教へ
わがまなびやは朗らけき
光に満ちたる愛の園
いぎやはらはら朝夕に
共に手をとり学びつ
正しき道に進まなん

(昭和三年十月十七日制定)

長岡高等女学校 校歌

中村 秋香 作詞
小山 作之助 作曲

一 吾がこの校にも学ぶ身は
勤儉質素の校風のもと
すべての学科をつとめつつ
深く修めん 女子の徳

二 独立自営世に立たむ日は
良妻賢母の事実を挙げて
貴き誉れを長岡の
長く残さん 世にひろく

(明治三十六年九月三十日制定)

創立記念の歌

中村 秋香
作詞
小山 作之助
作曲

一 明治の三十六年五月

月立つ初の一日をもて

吾儕の為におかれたる

この長岡の学校は

新築愛たく成整ひて

いと賑はしく開かれにたり

二 窓より望めば南は田圃

西には西山北には弥彦

東は遠く千町田を

隔てゝ向ふ東山

此方に見ゆるは悠久山よ

あな世に勝れし野山の景や

三 風景のみかは吾が此の窓は

校風規律もまた世に優れ

悠久山の末長く

弥彦の山の高き名を

事実の上より四方に取りて

遍く世にこそ仰がるべけれ

(明治三十七年五月一日制定)

第一 応援歌

川若
原林
勝喜
三三
久郎
作曲
作詞

一 鳴呼逝く春も来る秋も
燦爛の夢よそにして
熱涙とも鍛へてし
力示さん時ぞ今
いざ君起てよ聖戦の
鐘鳴りひびく君起てよ

二 紺碧深き蒼穹に
相撃つ征箭は高鳴りぬ
古志の国原討ち薙ぎて
覇者とし立たん人や誰
いざ君起てよ聖戦の
鐘鳴りひびく君起てよ

三 柏葉城下陽は落ちて
大河の流れゆるむ時
銀漢映ゆる校庭に
我は仰がんで優勝旗
いざ君起てよ聖戦の
鐘鳴りひびく君起てよ

(昭和十三年制定)

第二応援歌

鈴木宇良子（高全1110回生）作曲
斉藤フサ子（高全1110回生）作詞

一 鋸 敵とゆるぎなく
われら勝利に胸燃えて

朝・夕べに鍛へこし
日頃の力今示す
堂々たりわが選手

二 暑さ寒さもいとひなく
われら勇者の意気たかし

強く正しき力もて
輝く誉を勝ち取らん
整々たりわが選手

三 信濃の大河洋々と
われら勝者の功を
称へて映ゆる旗の色
勝ちて静かに進みゆく
粛々たりわが選手

（昭和三十三年制定）